

◆2025年度FDC事業の実績報告（2026年3月末現在）

会議名		日程	会議内容
評議員会		①4月10日(木)(書面決議) ②5月28日(水) ③1月9日(金)(書面決議)	・定款変更、評議員の補欠選任 ・2024年度事業報告、2024年度計算書類及び財産目録の承認、評議員の選任、監事の選任 ・理事の補欠選任
理事会		①4月4日(金)(書面決議) ②5月12日(月) ③10月24日(金)(書面決議) ④12月23日(火)(書面決議) ⑤2月10日(火)	・事務局長の任命、評議員会の招集 ・2024年度事業報告及び附属明細書の承認、2024年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認、定時評議員会の招集 ・2025年度補正予算 ・評議員会の招集 ・2026年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込み、公益目的事業の種類及び内容・収益事業の内容、2025年度事業進捗状況の報告
委員会 ※	① 事業評価・事業企画委員会	11月17日(月)	・2024年度事業評価、2025年度事業進捗状況の報告、2026年度新規事業提案
	② 事業運営委員会	12月10日(水)	・2025年度事業進捗状況の報告、2026年度事業計画

※外部委員等から構成される委員会を自主的に設置し、公益目的事業の成果や実績に対する測定・評価を行った。公益目的事業の質を改善するため、委員の識見、意見、提案を受ける機会とした。

1 公益事業

【PRODUCT（ものづくり・商品開発）】

No.	事業名	事業内容	実績
1	JAPAN YARN FAIR & THE BISHU～糸と尾州の総合展～	・全国最大規模の糸に特化した商談会、第23回 JAPAN YARN FAIRを開催し、川上企業と川中企業とのマッチングの場を創出した。 ・川上企業が糸に関する情報や提案を発信し、川中企業が新商品開発に取り組むきっかけとすることで、尾州産地における高付加価値な商品開発を促進した。 ・「THE BISHU」では、オープニングセレモニー、ジャパン・テキスタイル・コンテスト(JTC)表彰式、「糸と布の市」を実施した。また、JTC、翔工房及びインパナ塾の作品、尾州マークのPRパネル等を展示した。 ・特別トークショーとして繊維専門商社の視点を踏まえ「尾州産地に求められているもの」と題して実施した。	・会期:2026年2月19日(木)・20日(金) ・会場:いちい信金アリーナ・いちい信金アリーナ A・B(一宮市総合体育館) ・出展者:43企業、2団体 ・来場者:3,583名(ビジネス2,486名、一般・学生1,097名) ・特別企画:「アップサイクルマルシェ」では、トヨタ紡織(株)、豊田合成(株)、(株)東海理化の3社と尾州産地企業の若手人材が連携し、自動車部品の端材と尾州産地のデッドストック生地を組み合わせることで製作した試作品の展示と、3社のアップサイクル商品の販売を行った。
2	福祉衣料に関わる開発支援	・尾張繊維技術センター、一宮特別支援学校、地元企業と連携し、子供たちの夢を叶える服づくり(福祉向け商品開発[車椅子用レインコート、小物製作等の取組み])を支援した。	・一宮特別支援学校のPTA関連行事に、岐阜市立女子短期大学デザイン環境学科の柴田佐和子先生を講師として派遣し、「どこでもポケット」の製作において、生徒の保護者、教職員に対して指導を行った。実施日:7月29日(火) 参加者:20名
3	ファッション・テクノ工房	・柄シミュレーションソフトを活用して企業の見本製作を支援した。	・見本製作枚数:118枚(延べ34社利用)

【PERSON（人材育成）】

No.	事業名	事業内容	実績
1	尾州インパナ塾	・尾州産地の繊維企業で働く若手人材を対象に、原料から最終製品に至る製造工程の基礎的知識や最先端技術、ファッション、色彩心理などを幅広く学ぶとともに、熟練の匠が複数の受講者とチームを組んで試作開発実習などを行った。 ・多角的かつ実践的なカリキュラムを通じて、産地の将来を担う人材育成を行った(産地企業間の横の繋がりを深める効果を期待)。	・開催期間:5月10日(土)～2026年3月25日(水)(修了式・成果発表会) ・受講修了者:15名(正規コース13名、部分コース2名)
2	翔工房	・感性豊かな学生が、経験豊富な匠ネットワークの技術者と協働し、学生のデザイン画を基に生地とガーメントを製作した。学生は製織・編みや染色整理の各工程を現場で学び、実際の生産プロセスに参加することで、デザイン意図と素材特性を結びつけたものづくりを体験した。	・開催期間:7月3日(木)～2026年2月20日(金) ・参加者:18名(18校) [応募者46名(22校)から書類審査を実施] ・講師:匠ネットワーク(11名参加) ・成果発表会:2026年1月18日(日)「翔 the SHOW2025」ファッションショー形式で実施。参加者:150名(北原里英アンバサダー参加)

3	①若手人材産地訪問ツアー	・ファッション産業へ進路を希望する学生を対象に、将来、産地企業への就職活動につながるよう、尾州産地への理解をより深める機会として実施した。	・実施日:8月6日(水)・7日(木) ・参加者:18名(5大学、5専門学校)
	②デザイナー産地研修会	・9月のBMEで実施したセミナー受講者を中心に参加者を募り、デザイナーが尾州への関心を更に高める機会として実施した。産地企業(経営者)との直接交流を図ることで、将来的な引き合いにつながることを企図した。	・実施日:11月20日(木)・21日(金) ・参加者:18名 ・内容:産地工場見学、経営者等との意見交換 ・講師:宮浦晋哉氏
4	各種セミナー		
	(1)マーケットセミナー (年2回)	・消費者目線での商品企画・開発を促進するため、最新のトレンド情報を年2回Web配信で産地企業に提供した。 ・テーマ:①「2025年冬の予測」 ②「2026年夏の予測」	・開催期間: ①5月14日(水)～5月28日(水) ②11月5日(水)～11月19日(水)
	(2)新規採用者向けセミナー (尾張繊維技術センターと共催) (年1回)	・繊維企業の新規採用者を対象に、繊維に関する基礎的知識を学ぶカリキュラムを提供した。 ・内容:「繊維原料・紡績・撚糸、染色、織物・ニット、仕上げなどの基礎知識」「尾州産地」の講義及び尾張繊維技術センターの施設見学を行った。	・開催日:6月18日(水)
	(3)繊維技術セミナー (尾張繊維技術センターと共催) (年3回)	・繊維企業の技術者を対象に、これからの繊維産業が必要とする新たな技術や仕組等に関する情報を提供した。 ・テーマ:①a「地域産業の価値を伝える、産地発アパレルのブランディング」b「チクチクの予測と抑制～ウールインナーの拡大に向けて～」 ②「太陽からの近赤外線による肌の温度上昇を防御する生地の開発と検証」 ③「関西万博『大阪ヘルスケアパビリオン』繊維・ファッション産業中小企業合同展示について」	・開催日: ①7月4日(金) ②11月28日(金) ③2026年3月6日(金)
	(4)テキスタイルトレンドセミナー (岐阜県繊維デザイン協会と共催) (年1回)	・テーマ:自分だけの才能に気がつけるか? ～元編集者の視点に学ぶ、デザインの可視化とファッションの可能性～	・開催日:12月8日(月)

【 PROMOTION (ビジネスチャンスの創出) 】

No.	事業名	事業内容	実績		
1	東京展(Bishu Material Exhibition<BME>)の開催 ① 2026 春夏 ② 2026/27 秋冬	・東京・原宿で尾州産地展を開催した。 ・産地企業にネリーロディ社(仏)のトレンド情報を提供するとともに、JFW((一社)日本ファッション・ウィーク推進機構)のトレンドコーディネーターと提携することで、より魅力的な新商品開発(素材開発)を促し、ビジネスチャンスの拡大を図った。 ・9月のBMEでは、隣接するLIFORK原宿で、若手デザイナーを対象に産地セミナーを実施するとともに、「30回記念アーカイブ展」と「尾州のリサイクルウールの今」の特別展示を行った。	①開催日:4月15日(火)・16日(水)	・出展者:12社 ・来場者:618名 ・サンプルリクエスト点数:延べ5,805点(延べ828社)	・会場:WITH HARAJUKU HALL(東京・原宿)
			②開催日:9月25日(木)・26日(金)	・出展者:13社 ・来場者:717名 ・サンプルリクエスト点数:延べ6,694点(延べ1,004社) ・セミナー参加者 30名(北原里英アンバサダー参加) ・講師:宮浦晋哉氏	
2	海外販路開拓支援事業 ① ミラノ・ウニカ出展事業	・テキスタイルの世界的な見本市「ミラノ・ウニカ」/ジャパン・パビリオンに、「ビシュウウールコレクション」として出展。イタリアを中心とした欧州での新規販路開拓を行うとともに、尾州産地のPRを行った。	・開催日:7月8日(火)～10日(木)	・出展者:3社 ・ブース来場者:111社 ・サンプルリクエスト点数:延べ560点(延べ51社)	・会場:ロー・フィエラ・ミラノ(イタリア)
			・開催日:2026年1月20日(火)～22日(木)	・出展者:4社 ・ブース来場者:136社 ・サンプルリクエスト点数:延べ708点(延べ76社)	
	②「2025中国向けテキスタイル輸出商談会 in 一宮」支援事業	・中国バイヤーを産地に招聘し、商談会を実施し、中国における販路拡大を目指す取組みを支援した。	・開催日:7月22日(火)・23日(水)	・日本企業17社、中国企業8社 ・主催:尾州産地バイヤー招聘実行委員会 (構成団体:日本毛工連、愛知県、一宮市、FDC) ・共催:ジェトロ名古屋貿易情報センター ・スワッチ依頼総点数:1,313点	・会場:FDC展示ホール

3 尾州トータルイメージアップ活動																																																																				
(1) 産地アピール事業																																																																				
・登録商標「尾州マーク」 (使用規程運用(2016.4.1～))		・尾州の認知度と存在価値を高め、 販路拡大を図った。 日本:2014年8月～ 中国:2017年1月～ 英国:2023年6月～ E U:2023年9月～			(2026年3月末現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">承認件数</th> <th colspan="3">頒布枚数</th> </tr> <tr> <th>下げ札</th> <th>織ネーム</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2016年度</td><td>77件</td><td>23,015枚</td><td>15,950枚</td><td>38,965枚</td></tr> <tr><td>2017年度</td><td>186件</td><td>100,558枚</td><td>36,312枚</td><td>136,870枚</td></tr> <tr><td>2018年度</td><td>258件</td><td>236,389枚</td><td>89,023枚</td><td>325,412枚</td></tr> <tr><td>2019年度</td><td>232件</td><td>312,179枚</td><td>138,699枚</td><td>450,878枚</td></tr> <tr><td>2020年度</td><td>244件</td><td>181,276枚</td><td>88,229枚</td><td>269,505枚</td></tr> <tr><td>2021年度</td><td>318件</td><td>185,230枚</td><td>77,913枚</td><td>263,143枚</td></tr> <tr><td>2022年度</td><td>266件</td><td>366,708枚</td><td>116,030枚</td><td>482,738枚</td></tr> <tr><td>2023年度</td><td>320件</td><td>483,201枚</td><td>159,688枚</td><td>642,889枚</td></tr> <tr><td>2024年度</td><td>420件</td><td>405,393枚</td><td>171,165枚</td><td>576,558枚</td></tr> <tr><td>2025年度</td><td>360件</td><td>404,882枚</td><td>168,084枚</td><td>572,966枚</td></tr> <tr><td>合計</td><td>2,681件</td><td>2,698,831枚</td><td>1,061,093枚</td><td>3,759,924枚</td></tr> </tbody> </table>		承認件数	頒布枚数			下げ札	織ネーム	合計	2016年度	77件	23,015枚	15,950枚	38,965枚	2017年度	186件	100,558枚	36,312枚	136,870枚	2018年度	258件	236,389枚	89,023枚	325,412枚	2019年度	232件	312,179枚	138,699枚	450,878枚	2020年度	244件	181,276枚	88,229枚	269,505枚	2021年度	318件	185,230枚	77,913枚	263,143枚	2022年度	266件	366,708枚	116,030枚	482,738枚	2023年度	320件	483,201枚	159,688枚	642,889枚	2024年度	420件	405,393枚	171,165枚	576,558枚	2025年度	360件	404,882枚	168,084枚	572,966枚	合計	2,681件	2,698,831枚	1,061,093枚	3,759,924枚
	承認件数	頒布枚数																																																																		
		下げ札	織ネーム	合計																																																																
2016年度	77件	23,015枚	15,950枚	38,965枚																																																																
2017年度	186件	100,558枚	36,312枚	136,870枚																																																																
2018年度	258件	236,389枚	89,023枚	325,412枚																																																																
2019年度	232件	312,179枚	138,699枚	450,878枚																																																																
2020年度	244件	181,276枚	88,229枚	269,505枚																																																																
2021年度	318件	185,230枚	77,913枚	263,143枚																																																																
2022年度	266件	366,708枚	116,030枚	482,738枚																																																																
2023年度	320件	483,201枚	159,688枚	642,889枚																																																																
2024年度	420件	405,393枚	171,165枚	576,558枚																																																																
2025年度	360件	404,882枚	168,084枚	572,966枚																																																																
合計	2,681件	2,698,831枚	1,061,093枚	3,759,924枚																																																																
(使用規程で定める「尾州産地」)																																																																				
愛知県	愛西市、あま市、一宮市、稲沢市、犬山市、岩倉市、北名古屋市、清須市、江南市、津島市、名古屋市、弥富市、大口町、大治町、蟹江町、扶桑町、飛島村																																																																			
岐阜県	大垣市、海津市、各務原市、岐阜市、羽島市、瑞穂市、安八町、笠松町、岐南町、神戸町、輪之内町																																																																			
・メールマガジン	・催事案内等の情報提供[2回/月配信] (BME開催告知など必要に応じて臨時配信を行った。)		・配信先:4,088件(2026年3月31日(火)に配信した件数)																																																																	
・尾州オンライン展示会開催事業 (「BISHU-JAPAN.com」の運営)	・尾州産地の繊維企業や製品PRを行うWebプラットフォームを運営。尾州企業のデータベース的な役割を担った。 ・産地企業の更なる参画を促し、販路開拓を図った。 (運用開始:2021年2月)		・出展企業:89社 ・出展内容等:企業の社屋・工場の外観、製造設備、製品、人材の写真や企業情報をサイトにアップ。閲覧企業から出展企業に対するサンプルオーダー等の照会をメール配信する機能を備える。																																																																	
・ミサंगा出前教室	・ミサंगाを作りながら「織る」仕組みを学ぶ教室を開催した。		①6月4日(水) ②8月1日(金) ③8月6日(水)～8日(金)④8月28日(木) ⑤11月9日(日)⑥2026年1月29日(木)⑦2026年3月10日(火)																																																																	
・尾州マーク付き製品等の販売 (マフラー、ネクタイ、ポーチ等)  【常設販売:FDC】	・糸と布の市	①2025年夏市 ②2026年冬市	①8月6日(水)～8日(金) ②2026年2月19日(木)・20日(金)	①一宮西病院(29名)②イオンモール木曾川(22名) ③イオンモール木曾川(34名)④FDC(7名)⑤アイプラザ一宮(35名)⑥一宮西高校(45名)⑦圓受寺(16名) *( )内は参加者																																																																
	・展示即売会	①集まれ!あいちの魅力博。 ②あんずマルシェ ③夏物販売会、年末販売会 ④SDGsフェスティバル ⑤びしんビジネスマッチング	①5月24日(土)・25日(日) ②6月4日(水)、2026年3月4日(水) ③7月4日(金)、12月15日(月) ④11月21日(金) ⑤11月26日(水)	①愛・地球博記念公園 ②一宮西病院 ③一宮市役所 ④名古屋東京海上日動ビルディング ⑤一宮市尾西市民会館																																																																
	・「愛知県手帳(2026年版)(尾州毛織)」の受託販売			・発売日:10月20日(月)(一般発売)	・販売場所:FDC																																																															
・尾州生地スーツ・ジャケットのお仕立て会			・10月4日(土)・5日(日)	・開催場所:FDC																																																																
・地場産品の展示・PR等			・常時	・場所:FDC																																																																
(2) 産地活性化支援事業																																																																				

・「匠ネットワーク」への支援	・産地が世代を越えて残さなければならない技、知識、経験を継承していくため、「匠」と称される技術者のネットワーク活動を支援した。	・主 催:匠ネットワーク ・期 間:4月～2026年3月	・匠ネットワーク:11名
・「ひつじサミット尾州 2025」への支援	・尾州の工場/工房や飲食店などが参加し、オープンファクトリーを通じてものづくり文化を体験する産地活性化を図る取組みを支援した。	・主 催:実行委員会 ・開催日:10月24日(金)～26日(日)	・会場:尾州地域の工場、飲食店等

## 2 収益事業

◎ 貸館事業

(1) 営業日:年末年始(12月28日～1月4日)の休館日及び臨時休館日を除く毎日

(2) 運営経費:光熱水料費、賃借料、保守管理費、修繕費等

## 3 その他事業

事業名	事業内容	実績
ジャパン・テキスタイル・コンテスト (JTC) 2025	①テキスタイル産業における技術力、デザイン力、マーケティング力などの強化と、それを担う若い人材の発掘と育成を図り、ビジネスチャンスの拡大とものづくりの魅力を発信した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>主 催:ジャパン・テキスタイル・コンテスト開催委員会 (構成団体:一宮市、一宮商工会議所、尾西毛織工業協同組合、一宮繊維卸商団体連合会、FDC)</li> <li>作品募集期間:8月1日(金)～9月30日(火)</li> <li>応募点数:224点(一般の部162点、学生の部62点)</li> <li>審査日 :10月21日(火)・22日(水)</li> <li>作品展示:11月12日(水)～14日(金) (東京都立産業貿易センター浜松町館)</li> <li>表彰式 :2026年2月19日(木) (いちい信金アリーナ A)</li> <li>作品展示:2026年2月19日(木)・20日(金) (いちい信金アリーナ B)</li> </ul>
	②製品化推進事業(デザイナービジネスマッチング) (一社)日本アパレル・ファッション産業協会を通じて募集したデザイナーに対し、原則3年間にわたり産地訪問費用等を助成し、産地企業とのマッチング強化を図った。	・参加者:9名(2025年度新規参加3名。2024年度参加の3名と2023年度参加の3名計6名は継続)